



「平沼駅」～知って・伝えてほしい身近な戦跡～

校長 上原 浩

9月下旬になり、驚くほど朝の肌寒さが感じられるようになってきました。ついこの間まで、WBGT計（熱中症指標計）の数値が気になっていましたが、ここ数日は見る事がなくなりました。陽射しは確実に冬に向かっていきます。宮田中では体育祭に向け、朝練習が行われています。例年と異なり、大きなかけ声はありませんが、それでも生徒たちは元気に取り組んでいます。体育祭は、10月15日（木）を予定しています。先日お知らせしましたように、誠に申し訳ない限りですが、県内では新型コロナウイルスは未だに心配な状況であり、感染拡大防止のため、グラウンドの観戦スペースの制約から、今年度はご来賓・高齢者の方の招待を断念し、保護者の方の参観も、「3年生の保護者各家庭1名のみ」とさせていただきます。重ねて、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

さて、「戦後75年」の続編です。今回は宮田中近隣の空襲跡です。横浜駅から横須賀方面の京浜急行に乗ってしばらくすると、線路の両側に古いホームの跡があります。ちょうど、「平沼商店街」にさしかかるあたりです。すぐそばに「つけ天」で有名なお蕎麦屋さんがあります。ちなみに、平沼商店街は、幕末に横浜を開港する際、東海道と横浜港を結ぶために作られた「横浜道」沿いに出上り上がった歴史ある商店街です。そこには、かつて、京浜急行「平沼駅」がありました。相鉄線の「平沼橋駅」とはまったく違うものです。地上からでは工事用のフェンスで囲われてよくわかりませんが、頭上の線路脇に、張り出したホームの形状とホームへの階段の一部が確認できます。



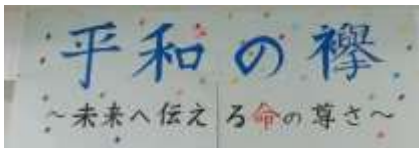
1931年（昭和6年）、横浜駅から695m、戸部駅から435mという近接した位置にアーチ状の鉄骨の屋根を持つしゃれたデザインの2面2線の高架駅が誕生しました。それが平沼駅です。平沼駅は、当時の平沼商店街から強い要望があり、それに答える形で開業したそうですが、横浜駅から近く、電車が坂を登りきったところにあるため、京急電鉄は、「駅を作りたくなかった」という話も残っています。間もなく戦争が始まると、1943年（昭和18年）6月30日、戦時対策として営業を休止（無駄な電力を節約するため、駅と駅との間隔が短い駅は使用停止）、翌1944年（昭和19年）11月20日には廃止となりました。

そして1945年（昭和20年）4月4日～5日未明にかけての空襲、また同年5月29日の「横浜大空襲（この時、宮田中の前身である宮田国民学校の校舎も全焼しました）」で、駅舎・ホーム共に焼夷弾で焼き尽くされて無残な姿になりました。空襲を受けた当時、「平沼駅」は廃止されていましたが、高架下に逃げ込んだ方の多くが、火災と熱風により亡くなったそうです。この頃は駅舎や鉄道車両が機上からの標的となっていたので、他の駅でも大きな被害が出ています。近くの黄金町駅での惨禍はよく知られています。また、直後の6月10日には、京急富岡駅（金沢区）で、人を乗せたままの電車がトンネルに避難したところ、トンネルの入り口に爆弾が落とされ、多くの方が犠牲になっています。

1999年（平成11年）までは、架線柱の代用となっていた状態であったことと、戦禍を後世に伝えるために、現在の線路上を跨ぐ形で焼け残った鉄骨の一部も残されていました。その空間だけ時間が止まっているようで、ここを通過するたびに重苦しい思いを感じたことを覚えています。しかし、老朽化により撤去されてしまい、現在はホームの一部と階段が残っているのみです。現場は、立ち入りができません。京急に乘った際に、目を凝らして見てください。

※本文の一部は、私が宮田中に着任した年、「横浜大空襲」の資料として職員に配布しました。また、前任校の岡野中でもこの場所が学区であったので、紹介したことがあります。横浜大空襲は、1945（昭和20）年5月29日、B-29爆撃機517機が横浜市中心部に飛来し、43万8576発の焼夷弾を投下した無差別爆撃で、横浜の市街地は猛火につつまれ、死傷者・行方不明者あわせて14,157名、被災家屋79,017戸を出し、市街地の44%が被害を受けました。

3年平和学習が「タウンニュース」に掲載されました。



「平和の禱」をスローガンにした3年生の修学旅行が中止となりましたが、その後も平和学習を続けています。

そんな、頑張っている宮中3年生の姿を、タウンニュースの記者さんが取材してくださり、9/24(木)の保土ヶ谷区版に掲載されました。

千羽鶴を用いた「折り鶴アート」と共に平和宣言を綴ったメッセージを長崎の訪問予定地であった3か所に送ります。



宮田中
3年生

千羽鶴折り長崎へ

修学旅行中止も前を向く
平和学習の集大成

千羽鶴を作る生徒ら

「コロナウイルスの影響で今年度の長崎への修学旅行が中止となった市立宮田中学校(上原校長)の3年生が、訪問予定だった長崎市内の施設に贈る千羽鶴を折っている。平和への祈りを込めた「宮中平和宣言」などご合わせ、9月中にも現地へ届ける予定だ。

同校の生徒らは3年次の修学旅行に向けて、入学当初から平和学習を積み重ねてきた。本来であれば5月に長崎を訪れるはずだったが、コロナ禍で9月への延期が決定。8月中旬に感染が再度増加した状況から、止

「思いだけでも」生徒らに中止が知らされると、学年教諭と修学旅行実行委員はすぐに話し合いの場を設け「これまでの取り組みをこのまま終わらせるのではなく、実際に現地へ足を運べなくても思いだけは長崎に届けたい」と平和学習の継続を決定。「形に残る活動を」と授業時間外で千羽鶴を折ったり、これまでの平和学習をスケッチブックにまとめる活動をはじめた。生徒からの呼びかけで、折り鶴づくりは教員らにも

広がっているという。生徒らの折り鶴は長崎原爆資料館、大刀洗平和祈念館、原爆死没者追悼平和祈念館の3カ所に届けられ、作成したスケッチブックは文化祭で展示される予定だ。

活動も終盤を迎え、修学旅行実行委員長の塩入菜々さんは「修学旅行の中止は誰のせいでもない」と分かってはいる。仕方ないとは思いつけれど、残念だし悔しい。だからこそ、これまで真剣に学んできた平和への思いを長崎に送れるように、みんなで協力して取り組みました」と振り返る。上原校長は「生徒たちは前向きに、真剣に活動を継続してくれた。いつかコロナが収束した頃に、改めて長崎を訪れてほしい」と話した。

■保土ヶ谷区版 / No.679 2020年(令和2年) 9月24日(木)

吹奏楽部・SSWがデビュー？！

新型コロナウイルスは、部活動にも大きな影響を与えています。従来あったほとんどの大会・発表会が中止となりました。

そのような中、運動部は、決して十分とは言えませんでした。成果を発揮する場として、多くの方の努力と協力で、「3年生の節目となる交流試合(区大会)」を終えることができました。しかし、文化系の部活動には、大会も発表の機会もないままの状況が続きました。そこで、保土ヶ谷区内の吹奏楽部・マーチングバンド部の顧問の先生方と保土ヶ谷区役所で実行委員会を立ち上げ、さらに保土ヶ谷区に本社をもつ「横浜ケーブルビジョン株式会社(YCV)」に全面協力をいただき、各校の演奏の様子を動画配信する運びとなりました。

本校からは吹奏楽部とSSW(シンガー・ソング・ライター部)が出演します。収録は、保護者の方の協力も得て、9/20(日)に保土ヶ谷公会堂で行われました。YCVの放映は右のチラシの通りですが、区役所のホームページでも期間限定で見ることができる「予定」です。乞うご期待！！



地上デジタル
10ch・11ch

地域の魅力、再発見！
YCVチャンネル
「地元密着」がコンセプトの様々な番組をお届けします。

10月

保土ヶ谷区 中学校
吹奏楽部・マーチングバンド部 2020

「部活動に真剣に打ち込み、青春を過ごしてきた生徒たちに演奏機会を与えたい」という思いからこの番組は生まれました。週替わりで、保土ヶ谷区内の中学校吹奏楽部・マーチングバンド部が登場します。感染症対策をとりながら練習し、一生懸命演奏している姿をぜひご覧ください。

YCVチャンネル①(地デジ11ch) | 毎日 17:15~、(水)~(金) 21:45~

10/12~ 岩崎中学校	11/2~ 境木中学校
10/19~ 宮田中学校	11/9~ 上野田中学校
10/26~ 新井中学校	11/16~ 保土ヶ谷中学校
	11/23~ 西谷中学校

横浜ケーブルビジョン株式会社
https://www.csv-yokohama.ne.jp/
0120-695-775
受付時間 9:00-17:00(年中無休)

YCVはJ:COMと東急(株)の共同運営会社です

YCVチャンネル公式
@yvcvch_official